

次期 北区 区ビジョンまちづくり計画策定の進め方について

1 北区 区ビジョンまちづくり計画策定に係る自治協議会日程

(詳細は別紙 1 参照)

6月～11月：素案について自治協議会委員より意見聴取（4回程度）

12月～翌1月：パブリックコメント

1月区自治協議会：素案について必須意見聴取・承認

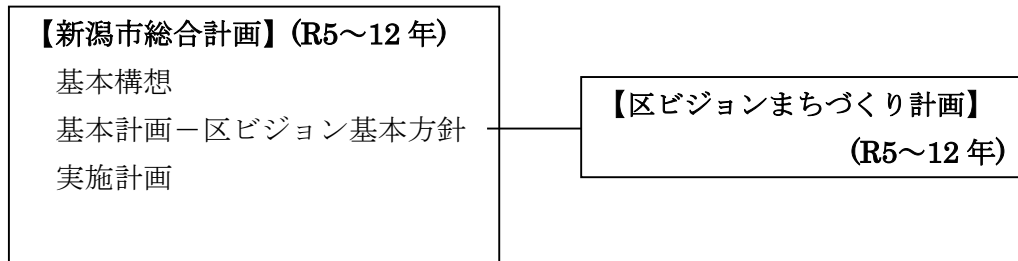
2 北区 区ビジョンまちづくり計画策定部会（特別部会）について（別紙 2）

- ・「北区 区ビジョンまちづくり計画策定部会」を設置し、「目指す区のすがた」ごとにグループを編成、検討・審議し、全体会で報告・了承とする。
- ・部会の前半（約 1 時間）を標記の特別部会として実施する。

【区ビジョンまちづくり計画とは】

区ビジョン基本方針の実現に向けたより具体的な取り組みを示すとともに、区を主体としたまちづくりを具体化するものです。

計画期間は、令和 5 年度から令和 12 年度までの 8 年間。



※

【区ビジョンとは】

政令市における区のあり方や目指す方向などを示すものです。

「区ビジョン基本方針」と「北区 区ビジョンまちづくり計画」で構成されています。

【区ビジョン基本方針とは】

区の担うべき役割、目指す区のすがたを示すものです。

新潟市政の最上位計画である新潟市総合計画の一部を構成します。

北区 区ビジョンまちづくり計画策定に係る自治協議会日程(案)

日 程	全体会議	北区区ビジョンまちづくり計画 策定部会
4月28日(木)	・「基本方針」素案修正報告 ・特別部会の設置提案	
5月26日(木)	・北区 区ビジョンまちづくり計画 策定部会のグループ決定	
6月23日(木)	「北区 区ビジョンまちづくり計 画」素案第1稿説明	第1回開催(部会内) 素案について意見聴取
7月28日(木)	第1回北区 区ビジョンまちづく り計画策定部会の報告	
8月22日(月)	素案の経過説明	第2回開催(部会内) 素案について意見聴取
9月22日(木)	・第2回北区 区ビジョンまちづく り計画策定部会の報告 ・素案の経過説明	第3回開催(部会内または臨時 部会) 素案について意見聴取
10月27日(木)	最終案の説明、意見聴取	
11月24日(木)	・前回の意見聴取の回答説明 ・パブリックコメントについて	
令和5年 1月26日(木)	最終案の承認	

※区ビジョン「基本方針」「まちづくり計画」策定に係る6月以降の日程

	区ビジョン基本方針	区ビジョンまちづくり計画
6月-9月	「新潟市総合計画」の一部として、 本庁の「総合計画審議会」で審議	自治協議会特別部会を中心に審 議
8月	「新潟市総合計画」パブリックコメ ント(全市)	
12月	「新潟市総合計画」を市議会で議決	パブリックコメント(北区)
1月		区自治協議会必須意見聴取・承認
2月		市議会で報告

※北区 区ビジョンまちづくり計画策定に向けての意見聴取(令和4年度)

日 程	意見聴取先
令和4年4~5月	コミュニティ協議会総会で説明・意見聴取
5月	北区内中高生アンケート調査
6月	大学生とのワークショップ

北 区

潟と大河と日本海、水の恵みに育まれ、
人と人がつながり、心豊かに支え合い、
発展するまち



区ビジョン基本方針

区の特徴

福島潟をはじめ阿賀野川などの河川や日本海、水の恵みに育まれている北区。かつては多くの水害が発生した地域ですが、新井郷川排水機場(*1)や福島潟放水路(*2)の整備により治水が保たれ、広大な田園地帯が形成される豊かな土地になりました。また、新潟東港や主要幹線道路によるアクセスの良さを活かした工業団地の整備により、産業が発展しています。地域のまつりや阿賀野川ござれや花火などの伝統・文化を継承するとともに、心豊かに人とのつながりを大切にすまちはです。

区の概要

① 地勢

北区は、新潟市北東部の阿賀野川以北に位置し、東は新発田市、聖籠町、南は阿賀野市に隣接しています。

区の北側は日本海に面しており、海岸線と平行に砂丘地帯が形成されています。東に飯豊連峰、南には五頭連峰を望み雄大な田園風景が広がっており、周辺には月岡温泉があります。

区の南東部に位置する福島潟は、国の天然記念物オオヒシクイ(*3)の日本有数の越冬地として知られています。



飛来するオオヒシクイ

② 産業

北区の農業は、稲作を主体としつつも「儲かる農業」の実現に向け、園芸作物との経営複合化を図り、園芸産地拡大にも積極的に取り組んでいます。なかでも、トマト、なすは県下の販売量を誇り、高い評価を受けています。

国際拠点港湾(*4)である新潟東港は、本州日本海側最大のコンテナ貨物取扱量を誇り、国際物流拠点やエネルギー供給基地となっています。また、主要幹線道路や隣区に国際空港があるなど、国内外のアクセスの良さもあり多数

の工業団地が整備され、地域経済を支えています。

商業では、豊栄駅前通りを中心とした地区と松浜地区を拠点商業地と位置づけ、商店街の賑わいづくりに取り組んでいます。また、両地区では古くから露店市が開かれており、まちの台所として住民に親しまれています。

「北区産トマト・なす」の県内における販売量



全農にいがたを通して販売されたトマト・なすのうち、トマトは53.6%、なすは29.0%が北区産で、販売量は県内一位を誇っています。

資料：全農にいがた(R2)

③ 交通

主要幹線道路は、日本海東北自動車道、国道7号新新バイパス、国道113号が東西に貫き、新潟中央環状道路をはじめとする県道、市道と結ばれ道路網を形成しています。鉄道は、JR白新線が運行されており、区内には4つの駅があります。バスは、市の中心部及び新発田方面へと運行されているほか、区バス・住民バスなどが区内の移動手段としての役割を担っています。

*1新井郷川排水機場・・・一部の地区では、土地の高さが海面から0～3mと低地のため、排水機場を造り、ポンプで水を日本海へくみ出し、通常の農業ができるようになりました。昭和29年の建設時には、東洋一と言われるほど大規模なものでした。

*2福島潟放水路・・・平成15年3月完成。福島潟の水位が高くなったとき、その水を直接日本海へ流し、周辺の水害を防ぎます。長さは6.7km。

区の将来像

潟と大河と日本海、水の恵みに育まれ、人と人がつながり、
心豊かに支え合い、発展するまち

目指す区のすがた

自然の魅力輝くまち

- 福島潟、阿賀野川などの河川をはじめ、日本海に面した松林が続く海岸線や田園風景など、豊かな自然を守り、共生するまちを目指します。
- 豊かな自然環境と調和し、その魅力を活かして交流人口を拡大し、「キタクなるまち」を目指します。



自然の魅力あふれる北区



十二潟観察会(植生調査の様子)

未来へ続く活力あるまち

- 新潟東港や地域の魅力を活かした商工業の振興を進め、新しい時代へつながる活力あるまちを目指します。
- 若い力を活かし、大学などと連携を深めながら、住み続けたいまちを目指します。
- 農水産物の高品質化及び付加価値向上を図り、「儲かる」農水産業を目指します。
- 道路アクセスの強化や公共交通の充実を進め、人やものが交流する利便性の高いまちを目指します。



国際拠点港湾 新潟東港



県下一の販売量を誇るトマトの出荷

*3オオヒシクイ……カモ科の鳥。ユーラシア北部で繁殖、日本には冬鳥として飛来。オオヒシクイは、ヒシクイの亜種でヒシクイよりも一回り大きく、国の天然記念物に指定。北区の鳥(平成27年1月1日制定)

*4国際拠点港湾…国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾として政令で定める港湾。(港湾法第2条第2項)

区ビジョン基本方針

いきいきと心豊かに暮らせるまち

- 誰もが安心していつまでも健康に暮らせるまちを目指します。
- 安心して子どもを産み育てることのできる環境をつくり、地域全体で子どもを支えていくまちを目指します。
- 文化・スポーツ活動を通して、学びあい心豊かに暮らせるまちを目指します。



大学生による介護セミナー



子育て支援講座



福島潟駅伝競走大会

安心安全で住みよいまち

- 防犯活動や交通安全など、さまざまな地域課題を地域で助け合いながら解決し、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちを目指します。
- 地域と協働し、地域防災力向上を図り、区民一人ひとりが自ら行動し助け合うまちを目指します。
- 都市基盤施設(*5)を充実させ、災害に強いまちを目指します。



交通安全の推進



地域での防災訓練



雨水貯留施設の整備

*5都市基盤施設・・・都市のさまざまな活動を支える最も基本となる施設。道路・鉄道等基幹交通施設、上下水道、電気、ガス等エネルギー関連施設、ゴミ・汚水等処理施設などがあります。近年は情報通信施設、基幹緑地・公園などのシステムや施設も都市基盤施設として扱われるようになってきています。(「ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典」より)